

## 三瀬館(三瀬御所)(県史跡)(多気郡大台町上三瀬)

南北朝時代、後醍醐天皇を助け活躍した北畠親房の子孫で、第8代伊勢国司の北畠具教(とものり)の館跡。

永禄12年(1569)の大河内合戦の後、宮川に沿い、かつ熊野海道の一宿駅であり、山深く要害の、なお深山を奥に控えたこの三瀬の地に館を設けて隠棲した。天正4年(1576)に織田信長の指示による刺客に暗殺されるまでを過ごした。

近くには当時の見張り台であった茶臼山までの遊歩道も整備され、春は桜、秋は紅葉と四季それぞれの風景を見せてくれる。

一帯は県の史跡に指定されている。

観光三重による

洞塚 三瀬館跡から川を渡った対岸にある。

